

寺
ごよみ

四月

- 一日 下村お講
一日 太子会
一四日 清掃奉仕
一六日 栗虫お講
一七日 聞法会
二〇日 花つみ
二一日 花の誕生会

花の誕生会

- 二一日九時 お寺の学校
十時 初参式
おつとめ
記念珠贈呈
冥加金 三千円
法話 縁日
善 巧 寺
お申込みは一六日まで
六五一〇〇五五

寺報 善巧

発行

938-0862 富山県
下新川郡宇奈月町浦山497
白雪山 善巧寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975
メール zengyou@p2342.nsk.ne.jp

第26回

慶びの春
花の誕生会

四月二十一日



チューリップのお莊巣

コンピューターを開くと伊勢にいる兄からメールが入っていた。「悲報」と題してある。「抜けるような青空のもと、猫が死んでしまった」と書かれてあった。青空のもと、猫が死んでしまった」と書かれてある。意味、家族以上の愛着がわいてくるものである。

家にもいま、ともに九年を過ごした柴犬がいる。九年という歳月は大きい。父はこの犬を知らない。当時中学一年だった男の子は、もう大学生である。この子にせがまれて、迎えた犬であった。二人で犬を抱いて帰った日のことは、鮮明に覚えていて。感情にまかせて怒ってしまうことも、しばしば。何を怒られているのか解らず、悲しい目をしている。悪いことをしたといつも反省する。

犬や猫は、死を恐れることがない。また、生に迷うこともない。「ある意味、人間より偉いのかもしれない」そんなことを書いて、

横川法語の「身はいやし」ととも畜生におとらんや」というのは、単純に大猫よけットを飼っていると、ある意味、家族以上の愛着がわいてくるものである。

か。仏法にあうということを離れて、この言葉を理解してはならない。我々がいってはならない。「劣つつきつめると自分中心の虚妄の判断でしかない。猫は、一週間ほど獣医に見てもらい、最後は病院で息を引き取つたといふ。心臓も、腎臓も悪かつた、糖尿病であつたといふ。そんな人間の小賢い判断とは別に、おそらく、猫は超然と死んでいくことであろう。

抜けるような青空のもと

「荼毘所ではにわか坊さの職員が、般若心経をあげてくれた。本来笑うべき光景かもしれないが、スギ花粉が眼にしみた」とメールは結ばれてあつた。

行信教授

山本撮影先生

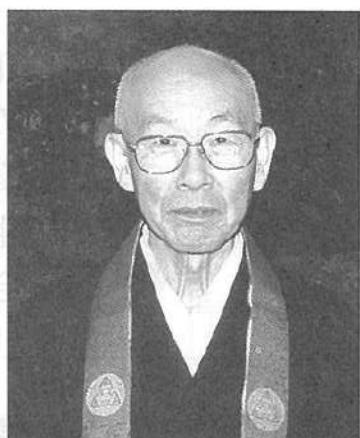
返事しておいた。

空華忌講話

(平成十二年)

本願寺派勸学

梯實圓和上(四)



(先月号の続き)

それに対して淨土門といふのは何かというと、そんな強烈な自力の修行に耐えられない、戒律をキチツと保つて心を静めて行うような、そんな修行に耐えられない、そういう愚かな者の救いの道なんだから、従つてただ一筋に「南無阿弥陀仏南無阿弥陀仏」と仏さま

の名を称えて、阿弥陀さまのお救いにあずかりなさいとこう教えていくのが淨土門でござりますから、お念佛するくらいのことなら誰でもできるでしよう。

いや誰でもできるものを見たが、阿弥陀さまはちゃんと選んでくださったんだ。お念佛はできないんじやなくて、やらないんだ。しかもね、例えばものが言えないお方ならば、口で称えなくても心で思うだけでもお念佛になるわけなんです。ですからね、称えられる人は称えればいい、称えられない人は称えられない今まで仏さまのことを思えばこれもお念佛でございますからね。だからお念佛はほんの力ない者もできるように、仏さまは選んでくださったんだ。

弁阿上人も法然聖人のお弟子さんだからやつぱりそういうんですよ。それで、自力の要素は非常に弱い、阿弥陀さまの本願を信じて念佛する、しかしこの阿弥陀さまの本願を信じて念佛するということだけは私がせんなんらんこつちや、これは私の力でやらないかん。信ずるのは人に信じてもらうわけじゃない。称えるのも人に称えてもらうわけじゃない。やっぱり私がやらんならん。そうでしょ。そうすると自分が信じて自分が称える。しかしそれはほんの微弱なものだけども、しかし阿弥陀さまが本願を信じて念佛をしたならば必ずお淨土に迎えとるという本願があるから、その本願力があるから、それで微弱な善根ではあるけれども、自力の要素は極めて弱いけれども阿弥陀さまの強力な本願が加わつてくださるから

この良忠上人という方はこの良忠上人という方はいうふうにいいますね。分かるでしょ。なんやつたらこつちの方にいきますか。(笑) 真宗よりはこつちの方が分かりやすいかもしまだから自力の要素は非常に弱いけれども他力の要素が非常に強い。阿弥陀さまの強力な本願力が加わつて、そして私の力の足りないところを全部阿弥陀さまが「よし後は俺が面倒見る」とこうおっしゃつてくださいますから、私はただ本願を信じて念佛するというだけ、これだけさえすれば阿弥陀さまが皆引き受けたとおっしゃいますから、それで阿弥陀さまの強力なお力によって往生を遂げることができます。阿弥陀さまが本願を信じて念佛するというわけができるんだ。こういうわけですね。そこで本願を信じて念佛するといふわざかな力であるけれども、しかしこれは私がせにやいかんこと。だからこれは自力だけこう言うんですね。真宗と違うところ、分かりますかいな。

大変な学者でございます。この良忠上人というのはね、若い頃からある時は比叡山に登つて天台宗の学問をしたり、あるいは真言宗を学んだり、あるいは禅宗を学んだり、あるいは禅宗を、ちょうどその頃中国から帰ってきた道元禅師についてね、禅宗を学んだというような人なんですね。各宗をやつてきたんですね。それでもどうしても救われなかつた。それが今の北九州でございますけれども、そこにはいらっしゃつた聖光房弁阿上人の門をたたいて、そこで初めてお念佛の教えに気づいて救われていつた、という人なんですよ。この人もほんまは有り難い人なんです。

学問的な本を書かせたら大変難しいこと書いてますけどもね、ご法話になると有り難いご法話をしていらっしゃいます。あれの方が本物やつたのかもしません。それはいいとして、とにかくしかし、「自弱他強」これはいいとして、とにかくは良忠上人の言葉です。自力の要素が弱くて他力の要

素が強い、これが淨土門なんだと。もしなんにも自力の要素がなくて、他力だけで阿弥陀さまの力だけで救われていくというんだつたら、この世の中には救われない者はいないじゃないか。いや、迷っている者なんかいないはずだ。十劫の昔に阿弥陀仏が正覚を成就され、すべての者を救済する力をご成就されたその瞬間にすべての者が救われているはずだ。しかし現実には救われていない者は無数といふじやないか。救われてない者の方が多いじやないか。救われてない者は、救われる資格がないから救われてないんだ。阿弥陀さまの本願だつてやみくもに誰でも救うものじやない。だから救われるべき資格がなけれども、自力がれない。阿弥陀さまの本願力といえども、本願力を加えるに足る資格のある者でなければ本願力は加わらな

い。なぜならば、阿弥陀さまは本願の中で約束された。本願を信じて念佛せよ。そしたら極楽に生まれさせる、といわれている。だつたら本願を信じて念佛するといだけは、衆生の方でやらなければならないと仏さまの本願力も加わる余地がないんだ。もし本願を信じなくても念佛しなくとも皆救われるといふんだつたらこの世の中に救われない者は一人もない、みんな救われてお淨土に行つてしまつて。従つてそのようなことはあり得ない。だから本願を信じて念佛しなさい、すると必ず念佛する者はお淨土に連れて行つてくださる。これが淨土の教えた、これを他にいわれたんですね。他力といふけれども、自力がないんじゃない。また要らんのじやない、要るんだ。

だからここでは自力を捨てて他力に帰す」というのは自力の要素の強い聖道門をすべて、他力の要素の強い淨土門に入れといふことである、というのが良忠上人の考え方なんです。これは法然聖人以来の伝統なんだ、とこの人たちはおつしやるわけなんです。ところがご開山は、違うとおつしやるんですね。えらいややこしいことを言いますけども、実は本願を信じて念佛することも、私の力で行われたことではなくて、実は本願を信じて念佛しているという姿は阿弥陀さまの本願力が私の上で躍動している姿であつて、それは私がやつてることじやない、如来が我にあつて働いていらっしゃる、これが本願を信じ念佛することだ、これが親鸞聖人だ。ここにいっていらっしゃる、これが淨土の教えた、これを他にいわれたんですね。他力といふけれども、自力がないんじゃない。また要らんのじやない、要るんだ。

明教院和上が初めて言うん



ですよ。「終日能行すればも所行海を離れず」という言葉でね、『教行信証』の「二滞録」であるとか、あるいは最晩年、お亡くなりになる直前に講義をされたお正信偈の講義の中にも「終日能行すれども所行海を出です」実はお念佛している姿はそのまま、人間の営みじやなく、如来さまの働きが私の上に顕現してゐ姿なんだ、とおつしやるんですね。言葉は難いからですね。言葉は難いからです。それは何をいおうとしているのか、といふことをこれからいわなければいけない。親鸞聖人が「自力・他力」、「自力を捨てて他力に帰す」といわれた時、一体本願を信じ念佛することは誰の仕事かということをはつきりとご開山はあらわしてくださいます。そのことをお話ししたことはつづく

雪ん子OGが 仏前結婚式

3/17

このたび新郎新婦は
数多い人々の中から 選び
簡ばれて 夫婦の契りを
結ばれることになりました
一樹の蔭にやどり 一河の
流れをくむのも 宿世の因
縁によると申します

まして夫婦として生涯を
共にすることは よくよく
の深いご因縁であります

思えば

受け難い人の世に生を受け
ご両親をはじめ多くの方々
の恩恵によって ここに新
しい人生の門出をされます
ことは まことに尊いこと
といわねばなりません

これからのは

平穏な日も 苦難の日も
つねに浄土真宗のみ教えを
聞きひらき 力をあわせて
悔いのない人生を歩まれる
よう

み仮のおん前に

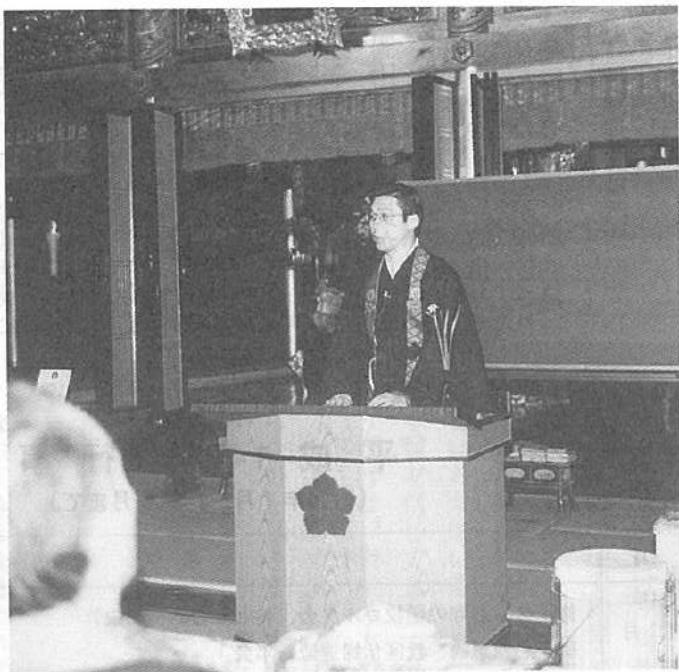
謹んで申しあげます

三月十七日午後四時半、雪ん子OGの新保博子さんが善巧寺本堂で仏前結婚式を挙げました。初参式を受け、雪ん子に六年間通い、成人式にも本堂で挨拶をし、シニアにも入って今も通いつづけている根っからの善巧寺っ子です。参列者は厳粛な雰囲気に身を引き締めていました。





覚如聖人のお書きになった親鸞聖人のご生涯「ご伝鉢」の拝読



三哥先生のご法話



仏婦連盟総会

御正忌報恩講
成 人 式
黒西組仏婦連盟総会
雪ん子劇団定期公演
1/13 1/13
3/24 3/9
16



雪ん子劇団春の公演後の打ち上げ



成人式

春の総代会 3/21

責任役員の野畠一雄さんが急逝されたので、総代会をどうするかが憂慮されましたが、とりあえず行事計画、会計報告は必要だといふことで、総務部会の要請で総代だけで会議が開かれました。今回は総代交代地区が四箇所あり、四人の新総代を紹介。十三年度行事報告、収支決算を承認。

十四年度行事計画では、前々住職七回忌・前住職十三回忌を十一月五日の空華忌に合わせて勤修することを確認しました。

また、今年度から年度決算になり、十四年一月から三月までの報告は改めて行うことになりました。

空華殿屋根修繕については岡田常縫部会長から説明があり、住職継職特別会計のプール金から一時借りて支払われたことが報告されました。

常縫修理費は門徒の関心が高いので明細を報告して

責任役員の野畠一雄さんが急逝されたので、総代会をどうするかが憂慮されましたが、とりあえず行事計画、会計報告は必要だといふことで、総務部会の要請で総代だけで会議が開かれました。今回も総代交代地区が四箇所あり、四人の新総代を紹介。十三年度行事報告、収支決算を承認。

十四年度行事計画では、前々住職七回忌・前住職十三回忌を十一月五日の空華忌に合わせて勤修することを確認しました。

また、今年度から年度決算になり、十四年一月から三月までの報告は改めて行うことになりました。

空華殿屋根修繕については岡田常縫部会長から説明があり、住職継職特別会計のプール金から一時借りて支払われたことが報告されました。

常縫修理費は門徒の関心が高いので明細を報告して

ほしい旨要請がありました。

題になり、総務、常縫、教化部代表が話し合った結果、住職が帰るまでの間、総務部会から嶋田総代が代務を務め、住職が帰り次第改めて責任役員を選定することになりました。

以上の皆様です。(敬称略)

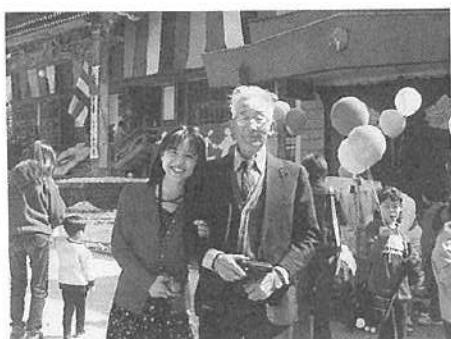
顔写真は次回で紹介します。

新総代さん

月	行 事	講 師
14年 1月	修正会、お寺の学校カルタ会、おとりこし(栗虫) 御正忌報恩講、教区仏婦連盟新年会	三寄靈証先生
2月	おとりこし(三日市・生地・荻生・下立・舟見・入善・泊・熊野・柄屋)	
3月	おとりこし(浦山)、黒西組仏婦連盟総会、下三日講ご助成 雪ん子卒業生仏前結婚式、雪ん子春の公演	
4月	11・太子会、13・清掃奉仕、21・初参式	
5月	22~24・専精舎夏講と本山参拝	
6月	8・カラオケ、11・野休み落語会、29・仏婦研修会	
7月	16~19・永代経祠堂会 清掃奉仕	高務哲量先生
8月	13・青年盆会、15・こども盆踊り、16・盆会、22・雪ん子劇団高田派本山公演・24・まことの保育公演・25・夏の定期公演	
10月	19~20・報恩講 清掃奉仕、おとりこし(富山・滑川・魚津・東福寺・田家窪野柳沢・経田・新浜・上下飯野高畠・板屋)	川崎順正先生
11月	4~5・空華忌、5・前々住職七回忌前住職十三回忌 おとりこし(上野・出・中新・中陣・柄沢・石田・浦山新)	利井明弘先生
12月	仏婦総会、清掃奉仕、おとりこし(愛本新・中の口・赤田・大橋・下村・下立愛本・内山・音沢)、もちつき、除夜会	
15年 1月	1・修正会、3・お寺の学校カルタ会、おとりこし(栗虫) 13~16・御正忌報恩講、仏婦連盟新年会	未 定
2月	おとりこし(三日市・生地・荻生・下立・舟見・入善・泊・熊野・柄屋)、カラオケ	
3月	おとりこし(浦山)、黒西組仏婦連盟総会、雪ん子劇団春の定期公演	

常例法座 お 講…1、16日 十七夜聞法会…17日
花 の 会…第一火曜日 雪ん子劇団…毎週月曜日





花の誕生会



住職補任式をおえて



御正忌のおけそくさし

昨年は責任役員を任命されを出してくださいました。お寺のどの行事にも必ず顔を出してくださいました。

責任役員の野畠一雄さん
が二月二十八日還淨されま
した。お父さんの代からの
ご縁で長いお付合いでした。
お寺のどの行事にも必ず顔
を出してくださいました。

た上、下三日講の講長も引
き受けられて、お寺にとつ
ても黒西組にとつてもなく
てはならない方でした。

人望厚く、誰にも慕われ
る温厚なお人柄で、それを
反映するように寒い中を大
勢の会葬者がお参りされた
中、本山からの弔慰状が読
まれ院号が下附されました。

五年前、本山での住職補
任式に同行された時、大変
感激して喜んでおられた様
子が忘れられません。

野畠一雄さん お浄土へ

(歳入)		(H13年度決算額)		(H13年度予算額)		(対 比)		(H14年度予算額)		予 算		(平成14年4月1日～15年3月31日) (単位 円)	
1. 布施収入	11,196,901	10,000,000	△1,196,901	10,000,000				10,000,000					
年 中 行 事	1,339,490	1,500,000	160,510	1,400,000									
門 徒 法 要	9,857,411	8,500,000	△1,357,411	8,600,000									
2. 寺 費	5,063,000	5,000,000	△ 63,000	5,000,000									
3. 雑 収 入	150,000	378,431	228,431	111,322									
4. 繰 越 金	121,569	121,569	0	888,678									
合 計	16,531,470	15,500,000	△1,031,470	16,000,000									

(歳出)

1. 寺院維持費	2,641,875	2,800,000	158,125	2,520,000
宗派課金	351,760	350,000	△ 1,760	350,000
公租公課費	295,367	150,000	△ 145,367	200,000
諸会費	35,000	0	△ 35,000	23,000
當繕修理費	1,462,854	1,700,000	237,146	1,450,000
保険料	496,894	600,000	103,106	497,000
2. 寺院運営費	5,800,917	5,200,000	△ 600,917	5,480,000
教化費	722,328	1,000,000	277,672	700,000
法要費	1,746,321	1,500,000	△ 246,321	1,870,000
会議費	103,805	100,000	△ 3,805	100,000
門徒接待費	621,210	500,000	△ 121,210	500,000
事務費	295,673	300,000	4,327	300,000
管専門教育費	1,898,080	1,450,000	△ 448,080	1,700,000
専門教育費	408,500	300,000	△ 108,500	300,000
交際費	5,000	50,000	45,000	10,000
3. 人件費	7,200,000	7,200,000	0	7,200,000
4. 予備費	0	300,000	300,000	800,000
合 計	15,642,792	15,500,000	△ 142,792	16,000,000
(歳入)				
(歳出)				
			(次年度へ繰り越し)	
	16,531,470	- 15,642,792	= 888,678	

修正会・永代経・報恩講・空華忌等懇志
門徒法事懇志・さい錢
寺院維持のための会費
本山より助成金など

寺報・施本など
法要に関する供物・法札・衣体など
会議の際の茶菓など
賄いお祝い・食事・お祝いなど
事務用品・郵送費など
光熱費・ガソリン代・機械リース代など
宗学教学に関する学費
見舞・お祝いなど
衆徒給与

二九日	一七日	一六日	一八日	一一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	寺 ごよみ	寺 ごよみ	五月
仏婦研修会	聞法会	音沢お講(三)	カラオケ	野休み落語会	東狐・上野お講	仏舍利塔法要	専精舎・本山参拝	佛教団花まつり	音沢お講(二)	聞法会	音沢お講(一)	喜子	花の蔭	七年忌

第二十六回

花の中の誕生会

四月二十一日 十時

赤ちゃんが生まれたら
まずお寺で初まいり。
人として生まれたご縁を
感謝し、いのちの尊さを
味わいましょう。

冥加金 三千円

お申し込みは十六日まで
六五一〇〇五五

第二十五回 野休み落語会

六月十一日 PM七時半

会費 一千五百円

永六輔

柳家小三治

入船亭扇橋

入船亭扇里 ほか



善巧寺仏婦研修会

六月二十九日 十時～三時

於 宇奈月 グリーンホテル喜泉

御寄進

仏婦有志の方々から本堂用座布団100枚御寄進いただきました。



第六回カラオケ

六月八日正午

会場

所

善巧寺門徒会館ホール

費

・男性千円

・女性五百円

(飲み物・おつまみ代)

申し込み

六月一日まで



五月二十二日二十四日

専精舎と本山参拝

専精舎 講義、会読、法話

行信教校前校長十三回忌

京都 本山 帰敬式、納骨

寺院参拝など

☆お誘い合せお申し込み下さい

合掌

おとりこし報恩講、決算、総代会、雪ん子定期公演等が同時進行する三月はお寺が一番忙しい時ですが、今年は特別な行事も重なり多忙を極めました。そんな大切な時に、鬼の攪乱かおとこしが終わつた途端高熱が続きお講を休むなどはじめての事でした。心労が最も体にこたえますが、かたや雪ん子卒業生の仏前結婚式でも雪ん子の卒業公演でも感激の涙が頬を流れ：こども達は喜びをくれます。

さて、四月、久々に住職が帰ってきます。新しい体制でお寺、ご門徒、力を合わせて本物の聞法の道場を目指します。副住職は入れ替わり行信教校へ。そして有花はいよいよ…春ですねえ。

